

大竹博士

おほたけ  
おさき

ソ聯研究家、

出版人。

明治二十二年二月八日愛知縣

生れ、昭和二十二年一月二十一日歿（六九—九六）。筆名廣尾猛、瓜

生信夫等。新聞記者を経て大正八年ウラジオストク公渡り、十年東洋

學院卒。十一年「東方通信」モスクワ特派員。十四年歸國、ロシア問

題研究所を興してソ聯の情報、出版物の翻譯紹介に努めた。昭和七年

ナウカ社創立。戦後民主主義科擧者協會に加はり、またミチエーリン

運動の關心を有つた。二十七年ナウカ社を改組、圖書輸入を主要業務

とする。ソビエト研究者協會幹事、日ソ協會理事等を務めた。

譯書に、レーニン著「ロシア社會民主主義者の任務」（瓜生信夫名、

昭和二年十一月十五日希望閣）、コンヴェト法と婦人の權利」（ロシ

ヤ問題研究所編著、昭和四年二月二十日婦人問題研究所）、コラスプー

チン」（監輯—譯纂、昭和四年六月十八日ロシア問題研究所「ロシア

大革命の裏面・史譯選輯」）、ジム・ドル作「職工長ミツクームス・

メンドエ」（廣尾猛名、昭和四年十二月十日同人社書店）、ア・コロ

ンタイ著「婦人労働革命」（昭和五年十一月十日内外社。のう加筆

改題「新婦人論（婦人労働革命）」）、十一年一月十九日、復刊。二十一

年八月二十日ナウカ社）、ヴェ・ザエ・カントロヴィチ著「ロシア大革命史

・第六卷—二月革命」（譯纂・ロシア問題研究所編、昭和六年六月十

日平凡社）、ブルツキー他八名著「ロシア大革命史・第二卷—テスア

ーチン」（譯纂・ロシア問題研究所編、昭和六年七月十日平凡社）、

エナゲニ・パトロフ作「12の椅子」（廣尾猛名、普及版・昭和十一年

五月十五日ナウカ社）、ゴリキイ著「文學論（ナウカ版）」（他二名

共譯、昭和十一年四月十一日言叢社）、トリストイ作「動物の話」（廣

尾猛名、昭和二十一年八月二十日(湖南書房)、アドラツキイ著「レニ  
 ニン主義の理論と實踐」(瓜生信夫名、他二名共譯、昭和二十一年十  
 二月)二十五日ナウカ社「ナウカ社版テキスト全集」等。著書ハ「コソ  
 ヲエト・ロシヤの實情ヲ語る」(昭和八年八月二十一日平凡社「世界  
 の今時台」)、コソ新露世臣風土記」(昭和九年十一月十五日華華社)、  
 「コロシヤ革命史」(昭和二十五年二月二十日ナウカ社「ナウカ講座」)、  
 「コソチエーリンと學說原則と方法」(編者、昭和二十五年四月二十日ナウ  
 カ社)等。コソ大竹博吉・遺稿ヲ「追憶」(昭和二十六年一月二十日大行  
 会)刊。

